

横浜港と岩手県港湾との協力体制構築のため 連携協定を締結しました

横浜港では、物流及びクルーズでの国際競争力の強化を図るために、積極的な施策を展開しています。

このたび、東日本各港湾との連携を進める中で、岩手県内港湾を管理する岩手県と相互協力体制を構築するため、協定を締結しました。

1 協定締結の目的

横浜港と岩手県内重要港湾（**久慈港・宮古港・釜石港・大船渡港**）が連携することで、**国際フィーダー航路***等を活用した海上輸送ネットワークを強化し、荷主の利便性を向上し、取扱貨物量を増加させるとともに、クルーズ船誘致や受入体制を強化することで賑わいを創出し、産業や地域の活性化に資することを目的としています。

2 協定締結日

平成30年2月28日

3 今後の展開

横浜市と岩手県で協議し、船社や荷主企業への共同での営業活動、荷役機械における技術協力等について連携して進めていきます。

※国際フィーダー航路

国際コンテナ戦略港湾（京浜港・阪神港）で外航航路と接続する内航コンテナ航路

お問い合わせ先			
（物流施策について）	港湾局物流運営課長	岩上 教行	Tel 045-671-2919
（クルーズ船誘致について）	港湾局客船事業推進課長	渡邊 充	Tel 045-671-7237